

国名(日本語)	オーストラリア連邦
国名(英語)	Commonwealth of Australia



国名の由来	古くから伝説として語り伝えられてきた「テラ・アウストラリス・インコグニタ(未知の南方大陸)」に由来する。「オーストラリア」は、この言葉が英語化されたもの。先住民アボリジニの住む大陸だったが、1770年ジェームズ・クックの上陸以後、イギリスの植民地となった。1901年に6つの自治領がオーストラリア連邦を結成して独立した。
国旗の由来	青地にイギリス連邦の一員であることを示すユニオン・ジャック。その下の7条の光を放つ大星は「連邦の星」と呼ばれ、独立時の6つの州と1準州を表している。5つの小星は、南半球のシンボル南十字星を表している。最初はオーストラリアを表す商船旗だったが、1909年に国旗として採用された。
1 面積	769万2,024平方キロメートル(日本の約20倍、アラスカを除く米国とほぼ同じ)(出典:ジオサイエンス・オーストラリア)
2 人口	約2,405万人(2016年3月 豪州統計局)
3 首都	キャンベラ
4 言語	英語
5 宗教	キリスト教61%、無宗教22%(2011年 国勢調査)
6 豆知識	世界複合遺産に登録されているエアーズロック(高さ348m・外周9.4kmの世界最大級一枚岩)は、先住民アボリジニの聖地でもあり、彼らの呼び方「ウルル」が正式名称として使用されている。

※6 豆知識は、『もっと知りたい！オーストラリア TELL ME ABOUT AUSTRALIA』在日オーストラリア大使館 広報文化部 2015(東京都立中央図書館 請求記号:302.7/5037/2015) 参照。